学校番号	302

平成 31 年度　音楽科

教科	音楽	科目	声楽Ⅰ（独唱）	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の音楽１（教育芸術社）						
副教材等	イタリア歌曲集１・コンコーネ 50 番（全音出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、イタリア歌曲集とコンコーネ５０番、ファイル、筆記用具を持参してください。専門実技の力を伸ばすためには不断の努力が必要です。日々の練習時間を毎日の生活で確保し、指導された内容について復習を十分に行い、新たな課題はソルフェージュや音楽理論、演奏研究の知識や技能を活用し、正しく譜読みするなど十分な準備をして授業に臨みましょう。

普段の授業の成果を発表する場として、地域のための演奏会など学内外で発表の場があります。試験の課題だけでなく、進度に合わせて本番で演奏する機会を積極的に持ちながら学んでいきましょう。

2　学習の到達目標

声楽に関する専門的な学習を通して、楽曲の表現内容を理解し、表現意図を明確にして創造的に表現する能力を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽文化を尊重し、主体的、創造的に音楽の学習を行い、楽曲の表現内容を積極的に理解し、演奏発表の場では演奏を共有し、互いに評価しあったりする活動に積極的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの動きを感受しながら、音楽表現を表現内容の理解に基づいて工夫し、表現意図を持って創造的に表現している。	音楽理論、ソルフェージュなどの基礎的音楽能力を応用し、創意工夫を生かした音楽表現をするための技術を身につけ、創造的に表そうと努力する。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、価値を判断し、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わい、発表の場では互いの演奏や自己の演奏を振り返って言葉によって表現することができる。
評価方法	授業態度（観察）	演奏聴取（実技試験）	演奏聴取（実技試験）	授業態度（観察）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			関心・意欲・態度	創意・工夫	技能	鑑賞の能力		
4～8	練習方法の確立・発声の基礎(声作り)学習	①練習方法について ②イタリア語の発音 舌や唇の使い方 (日本語の発音との違い) 《発声》 ③呼吸法 ④腹式呼吸・身体の使い方 ◇コンコーネ No1～7 Caro mio ben Nel cor piu non mi sento Nina 、Sebben crudele Caro laccio、O cessate di piagarmi、Amarilli Sento nel core など	◎	◎	◎ ◎ ◎ ◎	◎	a:練習方法についてなど、マンツーマンの指導で担当教員と共に常に改善を図り、指導された内容が次のレッスン授業や、試験で改善されている。 b:楽曲の作られた時代や作曲されている曲のスタイルに相応しい奏法で表現を工夫して歌うことができる。 c: ➢音高、リズムなど楽譜に書かれたことを正しく読み取り歌う事ができる、 ➢、正しいイタリア語や日本語の発音で歌うことができる。 ➢曲種や詩の内容に応じた発声や表現方法で歌う事ができる。 d:発表の場で他者の演奏や自分の録画・録音物を聴き、音楽の要素ごとに分析し、よりよい表現のための方法を言葉によって表すことができる。	観察 演奏聴取
9～12	イタリア語の正しい発音	◆第1回実技試験(7月) ◇コンコーネ No8～14 Star vicino Se tu della mia morte Gia il sole dal Gange Tu ch'hai le penne amore など	○	○	○	○		授業観察 演奏聴取
1～3	曲種に応じた音楽と表現の追及・声作りと音楽作りへ	◆第2回実技試験(11月) ◇コンコーネ No15～18 Lasciatemi morire Son tutta duolo Lasciar d'amarti Vergin, tutto amar ◆第3回実技試験(2月) ◇コンコーネ No19～ 次年度への目標と課題の振り返り ＊個別の指導となるため、曲目は目安とし、個々の生徒の進度に適した課題を取り扱う。必要に応じて担当者教員の会議を経て試験課題を検討する。	○	○	○	○		授業観察 演奏聴取